

# 一般質問

## 質問者

新井 達夫(政研クラブ)  
 飯島 英規(無会派)  
 人見 武男(創志会)  
 北川 久人(創志会)  
 福島 賢一(政研クラブ)  
 山之内 肇(公明クラブ)  
 相沢 崇文(創志会)  
 小滝 芳江(フォーラム桐生)  
 渡辺 修(無会派)  
 森山 享大(創志会)  
 園田 恵三(政研クラブ)  
 西牧 秀乗(無会派)  
 岡部 純朗(創志会)  
 伏木 康雄(無会派)  
 周 東 照二(公明クラブ)

3月15日(金)・18日(月)の2日間にわたり、15人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

### 桐生ブランド商品づくりに ついて

新井 達夫(政研クラブ)

質問 黒保根地区の取り組みについては、(稲刈りの様子)



回答 黒保根地区では、平成二十二年秋に「黒保根

おいしいお米をつくる会」を発足し、きれいな水と中山間地域特有の寒暖の差を生かした、おいしい米づくりに取り組んでいる。

質問 市のサポートと取り組みは。

回答 桐生地区農業指導センターを始め、関係機関と連携しながら、情報提供や意見交換会を通して生産者のサポートを行い、消費者ニーズを反映した桐生ブランド商品づくりに繋がられるよう取り組みたい。

### 中通り大橋周辺整備について

人見 武男(創志会)

質問 今後の計画は。

回答 三月に全線四車線が完了し、今後は周辺道路整備を実施していく計画である。渡良瀬川左岸では、錦琴平線を、右岸側では、錦桜橋下流からミツバ入り口道路までの堤防下道路を整備する計画である。

質問 信号機に名称を付ける対応は。

回答 中通り大橋線は当市の幹線道路であることから、信号機の地点名標識の



(中通り大橋線)

設置について警察と協議を重ねた結果、設置許可がおりる見込みとなり、中通り大橋開通までには設置したいと考えている。

### 川越市を超える観光都市へ

飯島 英規(無会派)

質問 観光都市桐生を創るといふ視点での考え方は。

回答 当市は昨年七月に重伝建地区に選定されたが、ただ単に観光地として残すだけでなく、そこに住む人達の利便性が増して、桐生の歴史や文化を持ちながら自信と誇りが持てる街を創る必要がある。織物の街桐生をいかに売り出していくか。桐生が持っている素晴らしさをもっと市民にアピールし、発信しながら高めていくことが必要である。川越市だけでなく、全国の重伝建地区を見定めた上で、魅力を感じられる桐生の街を創っていききたい。



(伝統的建造物群保存地区)

### 若年層に対する市外流出防止策

北川 久人(創志会)

質問 桐生市から人口流失を防ぐ考えは。

回答 人口減少対策については、人口対策検討委員会からの「提言書」の施策を軸に展開しようと考えており、住宅施策のほか、桐生市にしかできない教育施策、子育て支援施策など対策を構築していきたい。

質問 今後のスケジュー

回答 「提言書」の具体的な施策の内容を再度検討し、



(桐生市役所)

平成二十五年度中は各施策をグループ分けするなどスケジューを立てた上で、平成二十六年予算算から本格的な事業を推進したい。

**本町惣六町屋台と鉾ミュージアム建設**

福島 賢一（政研クラフ）

**質問** 桐生市には本町惣六町屋台が六基、鉾が二基ある。この歴史と貴重な文化資産を集積して公開展示できるような施設があれば、伝建群の付加価値も増え、桐生市の顔にもなると思うが、建設の考えはあるか。

**答弁** 弘前市や青森市にはねぶた関連、川越市には山車の展示など、観光の核になるような展示施設がある。今、伝建群という桐生市がまとまって新たなまち



（鉾曳き遣い）

づくりをスタートするという機運が盛り上がりつつあり、まち全体が一体となった考え方を持てれば、展示施設はできるものと考えている。

**通学路の安全確保**

山之内 肇（公明クラフ）

**質問** 通学路の安全対策として行った緊急台同点検（通学の様子）



の結果による、対策必要箇所や対策内容の公表は。

**答弁** 危険箇所対策内容や対策時期について学校では、スクールゾーン対策委員会において報告したり、学校などより保護者に改善状況を周知している。

**質問** 通学路の安全確保のためにも危険箇所などの市民への情報公開の考えは。

**答弁** 公表について、地域の人にも通学の様子を見守ってもらうためにも、周知する必要があると認識しており、関係各課とより良い方法を協議していきたい。

**第三子以降の保育料無料化**

相沢 崇文（創志会）

**質問** 第三子以降の保育料が無料となるための所得制限は。

**答弁** 現在、桐生市では前年の所得税額が五千円未満の世帯の第三子以降の保育料について無料となっている。

**質問** 子育て日本一を目指す桐生市として、子供を育て易いまちを実現するために、この所得制限を撤廃する考えは。

**答弁** 今後、人口減少問題に対する施策を検討する中で、財政的な問題もあるが、所得制限を撤廃し第三子以降保育料無料化実施に向け、前向きに検討したい。



（子育て支援課）

**雑がみ回収**

小滝 芳江（フォーラム桐生）

**質問** 雑がみ回収による売払収入は。

（雑がみ分別収集のお知らせ）



**答弁** 平成二十三年度は四十九万八千七百十円で、平成二十四年度は二月末までに三十一万五千二十円の収入となっている。

**質問** 今後、更に回収量を増加させるための取り組みは。

**答弁** 雑がみを回収していることを市民に周知するために、ごみ収集カレンダーに掲載するとともに、ホームページへ「雑がみとして出せるもの、出せないもの」の区分をカラーで分かりやすく表示した一覧を掲載したい。

**生活保護規準引き下げ**

渡辺 修（無党派）

**質問** 生活保護規準の引き下げに伴う桐生市への影響は。

**答弁** 八月から段階的に生活保護規準を引き下げるとの政府の考えが、報道機関から発表されているが、具体的な内容については、まだ示されていない。

**質問** 就学援助制度を受けている児童生徒に、しわ寄せがないか。

**答弁** 桐生市の就学援助制度は、所得金額を生活保



（桐生市役所）

護規準に当てはめるといった規準は設けていないので、生活保護水準の変更による直接的な影響は、現時点ではない。

**被災地復興支援**

森山 亨大（創志会）

**質問** 被災者及び被災地に対する今後の支援策は。

**答弁** 市営住宅の提供や支援情報の送付などのほか、新たに任期付職員を四名採用し、宮城県石巻市へ正規職員二名と任期付職員二名、岩手県宮古市及び陸前高田市へ任期付職員一名ずつ、技術系職員を一年間派遣する。また、平成二十四年度石巻市へ派遣している二名のうち一名は、半年間派遣を延長する。



（辞令交付の様子）

災害廃棄物の処理については、引続き宮古地区から今年の十二月末まで受入れを予定し、約一万二千トンの処理を行う予定である。

## 中心商店街の支援

園田 恵三(政研クラブ)

**質問** 中心商店街の主な支援策については。

**答弁** 賑わい創出に向けたイベント事業や魅力ある商店街づくりに向けた商店街共同施設の整備事業などに対して、商店街団体だけでは事業費のすべてを捻出することは困難である。このことから、県市協調の商店街活性化支援事業補助金や市単独の商店街活性化イベント事業補助金などによる支援を行っている。



(市内の商店街)

**質問** 商店街の街路照明灯の電気料補助については。

**答弁** 大変厳しい財政状況ではあるが、今後、検討していきたい。

## 経済活性化策(補助金支援)

伏木 康雄(無党派)

**質問** 国の緊急経済対策における補助金支援の現状と今後の見通しは。

**答弁** 現在のところ、公募要領等の詳細が明らかになっていない補助制度が多いが、施策活用を希望する企業等からの個別相談には順次対応しており、公募開始に向けた事前準備としてはできる限りのことを行っているところである。今後は、市内産業界ができるだけ多くの恩恵を受けられる

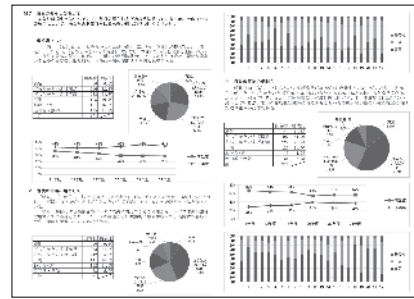


ように、国や県はもとより、商工会議所などの企業支援機関などとも連携を密にしながら、積極的かつ的確なサポートをしていきたい。(桐生市役所)

## 市民の声アンケート

西牧 秀乗(無党派)

**質問** アンケート結果の対応については。(アンケート集計結果の一部)



**答弁** それぞれ設問の掲載依頼を行なった部局が、それぞれの事業を進める中で結果の評価を行い、可能な限り施策に反映できるように努めている。

**質問** アンケート結果の反映状況を公表することについては。

**答弁** 直ちに施策に反映できるものもあれば、結果を基に分析や研究を重ねた上で実施されるものもある。このようなことから、反映状況の公表については、その方法も含め、今後、検討していきたい。

## 自主防災組織について

周東 照二(公明クラブ)

**質問** 桐生市内の組織率及び全国・県内の現状については。

**答弁** 桐生市の組織率は三十九・七パーセントで全国が七十七・四パーセント、県内が七十八・四パーセントとなっている。

**質問** 市民に関心を持ってもらうため、また自主防災組織の推進を図るために当市ホームページに自主防災コーナーを設置して組織の必要性や申請・登録の手

続き、各組織の活動状況などを掲載してはどうか。

**答弁** 有効な手段であることから今後、検討していきたい。



(桐生市消防本部)

## 北関東アクセス道路について

岡部 純朗(創志会)

**質問** 新設が予定されている太田市のスマートIC(太田数塚インターチェンジ)



地区協議会の現況は。

**答弁** 実施要綱に基づき地区協議会が平成二十四年一月に発足し、国土交通省や各関係機関とともに関係地方公共団体として桐生市長が副会長の役職で参画している。地区協議会では実施計画書が策定され、各種要望活動を関係団体に行っている。また、本年一月に新たに群馬県スマート・追加IC整備促進協議会が発足した。今後は本協議会の活動によりスマートIC等の整備が大きく前進するものと期待している。

## お知らせ

★次回定例会の開催予定は…

**6月7日(金)です。**

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成25年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。